

防災だより

吹田市
危機管理室

H24. 12

第 1 号

五月が丘
地区

避難所運営ゲーム HUG

実際に体育館での体験もされました。



参加者が
グループに
分かれて、
避難所とな
る体育館の
図面を囲み、
付与される
カードを避



難者にみたと、順に配置していくゲームです。

さまざまな条件を抱えた避難者をどのように配置するか、
ワイワイと楽しく議論する中で、災害をより具体的なもの
としてとらえ、模擬体験することができます。

各地域で

防災訓練を実施！

東日本大震災を教訓として、いつ何時起こるかわからない大災害に
備えるために、各地域で実施されている「防災訓練」等を紹介します。

H Hinanjo (避難所)
I Unei (運 営)
G Game (ゲーム)

東山田
地区

もしもの 災害で断水したら

避難所生活でやはり気になるのが、
水の配給だと思います。

吹田市では、飲料水の貯蓄の
ほかに、汚れた水をきれいにして
実際に飲むことができる可搬式小型
浄水装置を8台準備しています。

この装置は1台で1時間に250
リットルの水を消毒し、きれいにする
ことができます。

東山田地区の訓練の中では、参加者が
緊急時に備え、この装置を使って
きれいにした水を飲むという体験を
していただきました。



地震が起きたら

- ①
机やテーブルの下に潜り込む
- ②
「地震、火を消せ」ではなく
「揺れがおさまったら火を消せ」
- ③
ドアや窓を少し開けて
出口を確保する
- ④
ガラスなどが散乱した場合、
靴を履くか、敷物で覆う
- ⑤
避難するときは、
ブレーカーを落とす

落ち着いて行動してください

雨水 ふろ水 河水 プール 池水 海水

千地区 防災用 かまどベンチを作ろう！

藤が丘上自治会では、自主防災組織結成後、災害発生時に使用する無線機やマンホールトイレなど資機材の充実を図るとともに、防災訓練を実施するなど、防災に関する啓発活動を実施してられました。

今回、防災用のかまどベンチを、小学生から高齢者まで多くの自治会員が集まり、協力して作製される姿は、地域の防災力の向上につながるものと思います。



自主防災組織結成 吹南地区

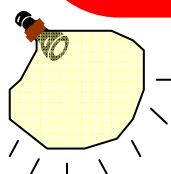
吹南地区の南金田自治会で防災対策委員会が結成されたのをきっかけに、地区で防災フェアが開かれました。

救助用資機材を展示したほか、消防団などの協力で放水や消火器体験、土のう作り体験など、参加者は雨の中にもかかわらず、本番さながらの活動を経験されました。

カレーライスや焼きそばの炊き出しも行われ、このような地域活動が、いざという時の助け合いにつながります。

知っとく!!

防災知恵ぶくろ Part 1



懐中電灯とポリ袋でかんたん照明

大災害時は、電気、ガス、水道などのライフラインが停止してしまいます。懐中電灯は一方向を照らすのには適していますが、暗闇で明かりをとるには、ランタンなどがあると便利です。そんなとき、懐中電灯にポリ袋をかぶせるだけで、周りをぼんやりと照らす照明に早変わり!!

用意するものは、懐中電灯と、不透明なポリ袋、輪ゴム。電池が長持ちし、熱をもちにくいLEDがおすすめです☆



ツナ缶ろうそく



つづいては、ご家庭にあるツナなどのオイル缶詰を使ったろうそくをご紹介します。



ツナ缶、綿ひも（たこ糸など）を用意します。

釘とかなづちで缶の上部に穴を開け、20センチ程度に切った綿ひもを通します。

20～30分
ひもにオイルをしみこませて火をつけるだけで簡単ろうそくの完成です!!

使用後は、温まったツナも食べられますよ☆



みなさんも、ぜひ試してみてください!!